

---

---

**「男女共同参画・若手支援シンポジウム」**  
**「ワークライフバランスと子育て支援の取り組み」**  
**Work-life balance and an approach for supporting parental care**

---

**オーガナイザー**：日本生物物理学会 男女共同参画・若手支援委員会

**Organizers**: Committee for Promoting Equal Participation of Men and Women and for Encouraging Young Researchers  
in the Biophysical Society of Japan

**日時**：9月26日（金）11:45～12:35（ランチョンセミナーの時間帯）

**会場**：諸会議室（104+105室）

**昼食**：お弁当とお茶が無料で提供されます。ただし、数に限りがあります。

**形式**：講演会とグループディスカッション

**講演者**：坂内 博子（名古屋大学）

---

**概要**：本年のシンポジウムでは、新しい試みとして講演の後にグループディスカッションの時間を設けることになりました。グループディスカッションの目的は、小さなグループに分かれて、普段思っていること感じていることについて気軽に話し合ってもらい、また、同じ問題意識を持つメンバーとして交流・親睦を図ることです。この機会に、これまで個人的に会話を交わしたことがない会員とも交流を持ち、親しくなればと思います。

講演は、1分子イメージングの手法で脳の分子メカニズムの解明に取り組んでおられる名古屋大学の坂内博子さんにお願いし、留学経験と海外でのワークライフバランス、そして名大におけるユニークな子育て支援の取り組みについてお話しいただく予定です。男女共同参画の取り組みでは、男女ともに意識の変革が必要であることが共通の認識になってきていますが、具体的な日常のワークライフバランスは避けて通れない問題です。昨年、一昨年のシンポジウムでは「博士号を取得して多様なキャリアパスを手に入れる」をテーマとして行われました。大学で博士号を取得して研究者や専門性の高い職業につくのは今も昔も難しいことですが、日本の将来の方向性には合致しており、様々な職種についての提案がなされるようになってきました。本年はこの問題に少し別の切り口からアプローチする予定です。

講演の後、時間が許す限り講演内容も含めて様々な話題についてグループディスカッションを行いたいと考えています。話題については委員会でも用意いたします。各グループでどのような話し合いが行われたかを最後に発表していただくことを計画しています。

老若男女を問わず、ご関心のある方々の参加をお待ちしております。